

五箇山の生業と暮らし

砺波散村地域研究所 佐伯安一

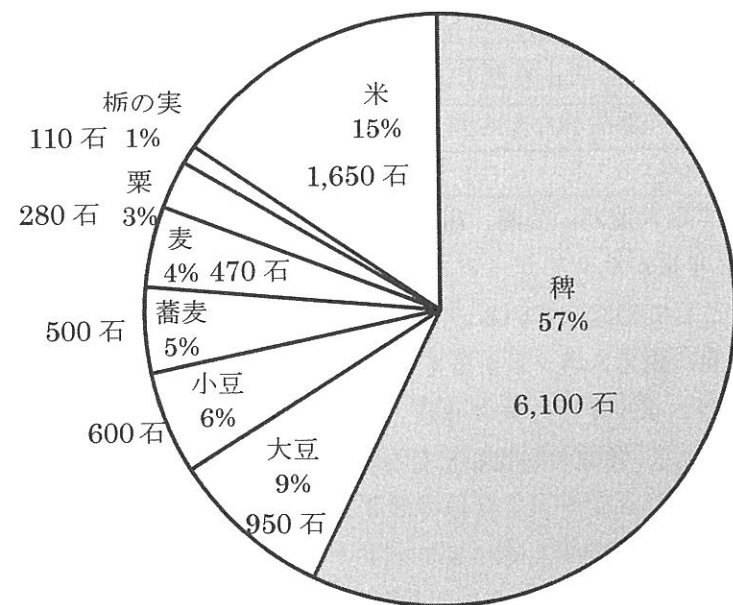
■五箇山の換金産物 享保19年(1734)

産物	生産量	銀高	比率
糸	2,000把	貫 匁 75.340	% 56
紙	3,700丸	25.100	19
あく塩硝	10,500斤	13.650	10
蓑	3,000	7.500	6
漆の実	5,000貫	6.650	6
白苧	1,050把	4.200	3
漆	21 匁	630	
合計		133.070	100

(川合文書「五ヶ山御用留」次頁)

■五箇山の食べ物 享保19年(1734)

(川合文書「五ヶ山御用留」次頁)



江戸中期の五ヶ山の換金産物と食べ物

覚

- 一、七拾五貫三百四拾目 糸式千把代、但三百目壹把ニメ、平均壹把二付中勘三拾七匁六分七厘
- 一、四貫式百目 白苧千五拾把代、但五百目壹把ニメ、平均壹把二付中勘四匁
- 一、六貫六百五拾目、漆ノ実五千貫目代、但拾貫目二付中勘拾三匁三分
- 一、六百三拾目 漆式拾壹貫目代、但百目二付中勘三匁
- 但 四五ヶ年に壹ヶ年かき取申候
- 付札ニ
- 「五ヶ年平均壹ヶ年分中勘図リ」
- 一、式拾五貫百目 五ヶ山ニ而出来楮ニ相当紙代銀中勘
- 一、式千七百九 中折
- 一、千九 下中折
- 代三拾五貫百匁、壹丸ニ付拾三匁
- 代八貫目 壹丸ニ付八匁
- 二口ノ四拾三貫百目
- 内拾九貫式百目 五ヶ山出来皮楮式千五百東代引
- 拾八貫目 寄楮千五百東代 壹東ニ付拾式匁宛
- ノ三拾七貫式百目引
- 残而五貫九百目 紙稼銀
- 一、七貫五百目 蓑三千代、但壹ツ二付中勘式匁五分
- 一、拾三貫六百五拾目 あく塩硝壹万五千斤代、但三百目壹斤二付中勘壹匁三分
- 合 壹百三拾三貫七拾目
- 内三拾壹貫四百三拾式匁式分三厘 夏成御納所銀
- 三拾式貫四百三拾五匁七分三厘 冬成御納所銀
- 引残而

六拾九貫式百式匁四厘 作飯米諸人用
内式拾四貫目 御塩代并諸人用等中勘
四拾五貫式百式匁四厘

此代米
千六百五拾石 五ヶ山百姓人々作飯米 壹人式斗七升三合
但 此米惣百姓中作飯米ニ而御座候

一、四百七拾石 麦
一、九百五拾石 大豆
一、六百石 小豆
一、六千石 稗
一、式百八拾石 粟
一、五百石 蕎麦
一、百拾石 栃の実
一、五千三百駄 蕪・大根

但 秋中ヨリ翌年二月末迄給申候
但 年中老人ニ壹石四斗九升程当り
米千六百五拾石
但 年中老人ニ付式斗七升三合之当り
二口合 壹万六百六拾石 五ヶ山百姓年中給物
此外 青草・てう葉等取交給申候
右五ヶ山出来之稼物并雜穀蕪惣員数中分之年を以中勘図り仕、御納所銀致指引、
年中給物百姓申請用書上申候

享保十九年十二月八日

御改作御奉行所

(川合文書「享保十五年五ヶ山御用留」) (「富山県史通史編Ⅲ近世上」所収)

戸出村 又右衛門
田中村 三右衛門
苗島村 久左衛門
以上